



SETSUDAI

さ
や
け
ち

2017 MAR
No.6

摂南大学広報誌

特集 就カツ

- 「就カツ」保護者セミナー …… P.03
- 就職内定者インタビュー …… P.04



学長 八木 紀一郎
Yagi Kiichiro

21世紀に入つて以来、グローバルゼーションと結びつけて経済成長を実現することが唯一現実的な政策であるというの、サミットに集まる統治者たちの

世界的なコンセンサス（合意）でした。しかし、昨年には、欧州でも米国でもまたアジアの各国でも、このコンセンサスを覆すような動きが起きました。格差の拡大、生計の不安、内外からの脅威を感じる人々が統治者たちの思惑を超えた意思表示をするようになったからです。このような動揺する時代の中では、何よりも基本に立ち返つて考えることが必要です。

基本とは、経済成長は自己目的ではなく、人々の生活（ライフ）の質を向上させ幸福を増進させるものでなければならぬということです。平均所得が高くても、不健康で短命な人が多く、孤独で危険がある社会は幸福な社会とは言えないでしょう。金銭的な所得の数量だけでなく、社会の中で自分の尊厳が保障され、不安・恐怖・嫉妬から解放された人生（ライフ）の豊かさが目的でなければなりません。

2008年のグローバル金融恐慌の後、これまでの経済政策を導いてきた考え方に対する反省が求められました。その一つに、ノーベル経済学賞の受賞者であるジョセフ・スティグリッツとアマルチャ・センが中心になった委員会による「幸福度指標」の提案があります。「幸福度」というのは「ライフの質」を言い換えたものですが、それは人々の置かれた客観的条件と人々の持つ能力によって決まります。スティグリッツ

たちの提案はこの「客観的条件」と「能力」を測る指標を総合して政策決定の指針にしようというものです。

「ライフの質」あるいは「幸福度」の増進は、経済を超えた総合的な目的です。現代人が幸せに生きるためには、自然環境・都市環境・社会環境の整備が客観的条件として必要です。またそれらの環境の便益を享受し、自らの所得を活用するためには、健康を維持する能力、社会関係を維持し学習・創造を行う能力が重要になります。

そのように考えると、理工学部・外国語学部・経営学部・薬学部・法学部・経済学部・看護学部の7学部からなる本学の全ては、この「ライフの質」の向上に関わっていることになります。それは、本学のタグライン Smart and Human（知性と人間性の結合）が指し示す方向と完全に一致しますから、それぞれの学部で、最新の科学的知識に基づいて「ライフの質」の増進に関わる教育・研究を行っているものと信じます。大学への進学率自体、国連人間開発（UNDP）の指標でもウェイトの高い指標になっています。それは、大学での教育によって現代的な環境の下での若者の実践力・学習力・創造力が高まると考えられているからです。

摂南大学は文理・医療保健系の3分野にまたがる総合大学として、教育・研究・社会貢献の領域での活動を通じて人類社会の新しい成長に奉仕したいと考えます。学生諸君の積極的な学修と活動参加を期待します。

注：国連人間開発（UNDP）の年次報告書もスティグリッツ委員会報告書も日本語版があります。関心を持った人はそれをご覧ください。（後者の書名は「暮らしの質を測る」金融財政事情研究会）



Setsunan University

index

学長挨拶 02

特集

「就カツ」保護者セミナー 03
就職内定者インタビュー 04

摂南大学の特色ある取り組み

学生生活 08

環境保全 09

交流事業 10

学部Topics

法学部・外国語学部 11

経済学部・経営学部 12

理工学部 13

薬学部・看護学部 14

情報教育支援・研究支援 15

後援会 16

奨学金・学費減免ほか 16

ニュース&トピックス 18

特集

摂南大学流就職活動

就カツ

2017年卒業予定者の就職活動は、選考開始時期の繰り上げなどの変化を受け、世間的にも大きな注目を集めました。このような状況の中、多様な進路選択を応援する本学の就職支援体制とともに、内定を獲得した学生の皆さんの声を紹介します。



2016年12月4日、グランフロント大阪ナレッジシアターにて

「就カツ」保護者セミナーを開催

就職活動時期における学生と親のより良い関わり方を理解し、実践することを目的に毎年開催している「就カツ」保護者セミナー。今年は120人を超える保護者の方々が参加。八木学長と若松後援会長のあいさつに続いて、第1部では「家庭でできる就職支援」と題した講演を行い、第2部は4年次生によるパネルディスカッションを実施しました。

第1部 家庭でできる就職支援

第1部は神瀬氏から、昨今の就職活動状況や、企業が求める人材、家庭でできる就職支援についてお話をいただきました。



神瀬邦久氏／
株式会社ビジネスリテラシー代表取締役
就活塾【就活ワークス】主宰

特異なキャリアをお持ちで大学生との接点が多く、彼らの潜在力を掘り起こしてビジネス戦力へ進化させる手腕には定評がある。「企業」「学生」どちらにも偏らない斬新な切り口から説き起こし、就職活動を通じた「人間の成長」を目標に現実的な視点から指導を行う。年間大学講演数は約120回。自ら主宰する就活塾では16年にわたり有名企業をはじめとする「納得内定」多数輩出。



就活状況 売り手市場である一方、一部の人気企業に応募の偏りも見られます。受験とは異なり、偏差値による大学基準はほとんど就活に適用されません。一生懸命に就活に取り組んでいる学生から内定が出ます。選考スケジュールの短期化から、早めに動き始めるメリットは大きいと、低年次から企業のインターンシップ(就業体験)に参加し、直接企業の人事担当者と話す機会を持つことも業界・企業研究に有効です。また、エントリーする企業は作戦を立てて、ある程度の数を受けておく方が良いと言えます。

企業が求める人材 社会人と関わる経験をできるだけ多く持ち、その中でどんなふうに取り組んだか、年齢・価値観・立場の違う大人に自分の考えを伝えられる力(コミュニケーション能力)があるか、その企業で本当に頑張って働く覚悟があるかが選考で問われます。周囲と比べるのではなく、個性を大切に、あいさつを基本に元気よく臨みましょう。

ご家庭での支援 親は一番近い参考書です。愛の反対語は無関心。就活を通して学生は成長していきます。長距離走の就活は、チャレンジし続けないと結果は得られません。保護者の皆さまには、費用面のサポートも含めて、見守りと応援を、また社会人の先輩としてアドバイスをお願いします。

第2部 私はこうして内定を得た

第2部では「就職活動の進め方」「就職活動で不安だったこと」「就職活動中の家族の支援」と3つのテーマでパネルディスカッションを行いました。



パネラー紹介(敬称略)
コーディネーター／
教務部キャリア教育推進室 講師 水野武
パネラー／
法学部法律学科 川崎 真理
外国語学部外国語学科 宮崎 拓真
経済学部経済学科 田中 洸太
経営学部経営学科 東山 友喜
理工学部生命科学科 椿 佳悟
理工学部都市環境工学科 相松 舞花
理工学部機械工学科 安藤 貴翔

直接的支援 面接やエントリーシートの対策と一緒に考えてくれた。質問や相談にとことん付き合ってくれた。そうかそうかと、ただただ話を聞いてくれた。就活で疲れが出てきた時期に体調を気遣い、あまり頑張り過ぎないようにと言ってくれた。父親がお酒を飲みに誘ってくれ、気分転換ができアドバイスもしてくれた。

間接的支援 連日続く就活で汚れていた靴を黙って磨いておいてくれた。昼食代を気遣いおにぎりを持たせてくれた。消費者目線での意見をたくさん聞かせてくれたことが選考で役立った。1人暮らしの中、就活用品のほかに野菜ジュースや健康を気遣う物を添えて荷物を送ってくれた。

不安や辛さ 兄姉との比較、就活してるの?とダメ出し、選考が終わった日や結果が出た日にどうやった?と聞かれる、などがプレッシャーで辛かった。

⇒関心は持ちつつも干渉しない、関与する場合はさり気なく、かつあまりプレッシャーをかけないなど、幅広い支援方法や留意点があることが分かりました。保護者からは、家庭での支援のヒントが多く得られたという感想を多数いただきました。

Interview

[就職内定者インタビュー]

アルバイトの接客で
コミュニケーション力も
身についた!

法学部 法律学科 4年次
高橋 允さん



内定先
京都市役所



けがもあり
なかなか良い結果を出せなくて
悔しい思いもたくさんしたけど、
精一杯やり続けました。

公務員試験1次で全受験者に面接

今年から始まった「京都方式」は1次選考で全受験者が面接を受けます。2人の面接官に対し学生側は1人、時間は10分。京都市がこの採用方式を導入したのは、民間企業を志望する学生ら新たな層の力を取り入れたいという方針からです。従来の選考はボリュームのある筆記試験からのスタートだったので、敬遠しがちだった民間志望者が併願しやすくなりました。「人物重視」。自分がこれまでに頑張ってきたことが評価されるのではないかという思いで受験を決めました。1000人を超える申込者には正直驚きました。(最終の合格者は39人)

民間企業との併願

公務員試験の勉強は3年次の11月から始めました。とにかく大学生活を精一杯過ごしてきたので、結果的に試験勉強に当てた時間は他の公務員志望の人と比べるととても少ないと思います。選考は1次・2次面接、3次の適性試験・グループディスカッション・課題作文、4次面接までありました。市の公共政策などとともに医療分野にも興味があったので民間企業と並行した就活でした。市役所の選考が進む一方では、志望度の高かった企業から内定をもらうこともでき、落ち着いて最終まで臨めました。将来的には地域スポーツの振興に関わるような仕事をしたいという希望を持っています。

勉強・部活・アルバイト、全ての経験が生きた就活

京都の政策などいろいろと勉強して臨みましたが、面接では部活動やアルバイトの話題が大半でした。兄の背中を追って小学1年生から始めた野球。中学でキャプテンを任された時からしっかりしなければという思いが強くなり、その分辛い経験もたくさんしました。大学では全体練習の後ギリギリの時間まで自主練習に励みました。飲食店や衣料販売店でのアルバイトも続いています。店では子どもの病気で休むお母さんもいて、兄妹3人を育ててくれた母の気持ちが少し分かるようになりました。接客業はしんどいことも多いですが、初めての方と話す機会からコミュニケーション力もつくのでお勧めです。これまで頑張ってやってきた全ての経験は、就活に限らず今後の仕事に生かせるのだと思っています。

目標を立てて
着実に取り組もう!

外国語学部 外国語学科 4年次
西川 友理さん

業界を絞らずいろんな挑戦をした就活

3年次の6月に参加した業界セミナーで、「お金」という観点からお客様の人生設計に関われる仕事だと金融業界に魅力を感じました。ただこの機会にいろんな経験や挑戦をしてみたいという気持ちもあり、早くから業界を絞らず夏季と冬季にかけてはホテルや銀行、商社などのインターンシップにも参加してみました。仕事内容とともに環境や人との関わり方が見えてきて、やはり金融業界に進みたいという結論が出せました。金融は経済の血液。人や企業を支えて深く関わりながら信頼関係を築いていける、人間力を試せる。自分の中でとてもしっくりきた業界選択でした。

8つの資格取得と他学部科目の履修

金融業界に興味が出たことで大学では経営学部の「金融論」と「金融商品取引法」を他学部履修しました。3年次の後期のことです。みずほフィナンシャルグループの面接ではこの科目に注目され、金融関係の質問は簡単にまとめて答えることができました。就活の武器にもなるようMOS、ファイナンシャルプランナー、秘書、簿記など合計8つの資格を取りました。外国語学部から金融業界に進む例はあまりないので意気込みを示すとともに、目標を立ててコツコツと頑張れるというアピールにもなりました。就職してからいろんな資格が必要になってくる業界。内定後は証券外務員にチャレンジします。

SPIや自己分析は「これ!」と決めてやり遂げる

SPIなどの対策本は大学の図書館で借りました。図書館で借りると返却期限があるので「〇月までに終わらせるため今日は絶対〇章まで進める」と決めて取り組みます。自己分析は書き込んでいく必要があったのでマイナビの本を1冊購入。セミナー等もありますが、私としては本が正解でした。「ページを進めていくうちにできた。本に導かれた」という印象です。筆記は会社ごとにテスト形式が違うので、あらかじめ調べて自分が「これ!」と決めたものをやり遂げるのがいいと思います。就活を終えてのアドバイスとして、最初は業界を絞らずいろんな説明会や選考会に参加して、多くの人と関わり、話をするをお勧めします。



内定先
株式会社 みずほフィナンシャル
グループ



大好きなカフェ。
コーヒーを飲みながら
勉強したり
スケジュール管理をしたり。
就活中も
本当によく通いました。

就活中は行動とともに 息抜きも大切!

経済学部 経済学科 4年次
中家 祥太さん



内定先

株式会社 ダスキン



学生アドミッションスタッフとして
オープンキャンパスなどを企画・運営し、
高校教員対象の大学説明会では
学生代表としてスピーチを披露しました。

自分を整理してみたら企業選びがスムーズに

初めは前向きになれないまま就職活動をしていました。周りに流されていてそもそもの企業選択にとても苦労していたのです。そこでこれまでの人生を振り返って、主体的に楽しく活動している時の自分自身を整理してみました。どんな時にやりがいを感じたか、頑張れた時のモチベーションはどこにあったか。そうすると「多くの人と関われる」「成長できる環境がある」「自分なりに工夫して仕事ができる」「誰かの幸せに貢献している」「企業に愛着が持てる」といった具体的な内容が浮かび、自分の中の軸が少しずつ修正されてきたのです。そこからは就活に前向きになり、自然と企業選びができるようになりました。

社風を感じた質問日

ダスキンの企業理念や個性に共感して説明会に参加しました。選考は小論文、1～4次にかけて面接・グループワーク・筆記テストがありました。個人の時は対応、グループの中ではどんな動きができる人物なのかを評価されていたように思います。面接では私が大事にしていることを聞いてくれて、いくらでも話せました。準備していた自己アピールのタイミングもないほどです。それから最終面接の前に希望者のみ質問日が設けられていました。いつも面接前の会場で声を掛けて緊張をほぐしてくれていた人事担当の方がこの日の面談者で、十分な時間を割いて質問を受けてくれます。選考過程で「自分と合っている」と感じる事が多く志望度がさらに上がりました。

就活中はまず行動、でも息抜きも入れて

この時期はとにかく何をやるにも「就活」が頭の中にあって精神的に非常に疲労します。他の就活生と比較して落ち込むこともありました。早く決まった人を見ては焦り、でも焦ることで頑張ることもできると信じて1、2カ月は必死に過ごしました。そんな時、以前から予定していた好きなバンドのライブに出掛けたら、頭を空にして心の底から楽しめました。就活中は、まずは行動ですが、自分でできる息抜きを入れてみるのも効果的です。疲労が回復して前向きに取り組めるようになり、焦りが解消されたのです。おかげで行きたいと思える企業に出会い、内定をいただくことができました。

インターンシップで 1つの結論が出せる!

経営学部 経営学科 4年次
時本 志歩さん

インターンシップで違いが分かる

自分のしたい仕事、就きたい業界をしっかりと見極めたかったので、3年次になってすぐ誰よりも早く就活をスタートさせようと合同説明会に参加しました。行動して不安を解消していくタイプです。オシャレが大好きで、高校生の時からアパレル店でアルバイトをしていました。憧れのアパレル業界への就職は意識していましたが、経営学部に進みファイナンシャルプランナーの資格も取ったことから銀行でのインターンシップも経験しました。そこで「自分のやりたいことは違う」という結論が出せたのです。3社のインターンシップに参加し、その後、選考に進んだアパレル1社から内定をもらいました。

スーツを着ない就職活動

就活は楽しかったです。アパレル業界に絞ってから、さらにルイ・ヴィトンの選考が始まってからは、志望理由が明確なので採用面接も面接官の方と自分の好きなことに対して、伸び伸びと自由に話せる機会と捉えていました。一番印象に残っているのは、ルイ・ヴィトンの選考で初めから最終までずっと服装に関するリクエストがあったことです。最初のグループディスカッションでは「自分の好きな色を取り入れた服装」、次のグループ面接は「旅をイメージした服装」、個人面接で「ルイ・ヴィトンに買い物に行く時に着ていきたい服装」、最終面接では「勝負服」。自分らしさを大切にしたい紺のノースリーブワンピースを着ました。

接客のプロフェッショナルになりたい

「20歳の記念に」と、お金を貯めて財布を買いに百貨店へ出かけた時のことです。緊張しながらブランド品を販売している店舗に入ってみました。話し掛けてきてくれる販売員の方はいません。でもルイ・ヴィトンだけは違いました。本当に丁寧に接客してくれたのです。その販売員の方のことは忘れられません。記念の財布は自然と「その方から」買いました。選考時も初期の段階で、人事の方をお客様として対話を通して商品を選んでいくグループワークがありました。あの日の出会いのような感動を求めて、私も接客のプロフェッショナルを目指します。一日でも早く自信を持って働けるようになりたいですね。



内定先

ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社

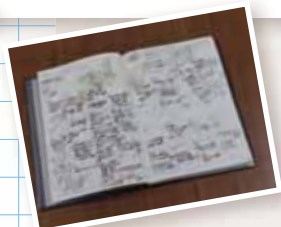


ダンスサークル
PEP JOY CREWの
副部長として
120人の部員と一緒に
振大祭を盛り上げました。

就活生同士の
出会いもいい思い出!理工学部 生命科学科 4年次
村瀬 勇貴さん

内定先

株式会社 神戸屋

手放せない手帳。
いろんな思い出が
よみがえります。

後悔しないための選択をする

就職を意識して3年次の12月から説明会に行くようになりました。自己分析を進める中では自分がやりたいことと性格上向いていることは違っていたのですが、後悔しないために自分の希望する道を選びました。食品は人が生きていくうえで欠かせないものなので、それに関わることで一人でも多くの方に貢献できます。中でも神戸屋は業界に先駆けて本来製造過程に必要なイーストフードや乳化剤の化学物質を使用せず、安心安全なパン作りに真摯に取り組んでいます。社員同士の雰囲気の良さや楽しんで仕事をされている様子も印象に残りました。

面接でのミスを救ってくれた面接官

多くの会社が企業説明会の日に1次選考を行います。神戸屋では学生6人ずつに分かれてカードを使ったグループワークをしました。そして忘れられないのが2次選考です。個人面接で志望動機を質問されたのですが、完全に忘れてしまい何も出てきません。すると面接官の方が何度も何度も聞き方を工夫してやり直してくれたのです。1分ほどの空白の後、そのおかげでなんとか答えることができました。「この会社いいなあ」と心に残るものの完全に落ちたと思っていました。ところが3次選考の案内がきて筆記試験を受け、さらに最終の役員面接を経て無事内定をいただけたのです。

人と関わる大切さを知って理系から営業職を希望

就活中は面接や筆記試験など普段あまり経験しないことを何度も繰り返し、それが結果に結びつかなくて辛く感じることも多いと思います。そんな中でも就活生同士の出会いは楽しいものでした。説明会や選考会で同じグループになった人や隣の席に座った人と仲良くなって話をしながら帰ったり食事に行ったりもしました。大学生活では人と関わることの大切さと楽しさを知り、それが影響して理系ですが営業職を希望した経緯があります。神戸屋の2017年度入社の営業職のうち現段階では理系出身は私一人ですが、期待以上の仕事をしたいと思っています。会社から必要とされる営業マンになれるよう頑張ります。

全ての経験が
糧になる!理工学部 建築学科 4年次
塩本 紗希さん

長期のインターンシップ参加は有利

ドイツで建築を学びたくて3年次の時「トビタテ! 留学JAPAN」プログラムに応募しました。合格すれば1年間留学するつもりでしたが、結果は不合格。12月のことでした。落胆しましたが、そこから就活に気持ちを切り替えます。住宅メーカーに絞って今できることを探し、インターンシップ参加を考えました。積水ハウスの選考に合格して6日間のインターンシップに行ったのですが、10倍以上の高倍率だったようです。ここで私はドイツ留学の応募に使用した文を参考にしました。あの時十分に時間をかけて自分を振り返り、自己分析していたことが無駄にならなかった。長期インターンシップの参加でその後の就活が有利になったと思います。

お客様にプラスアルファの提案をしていきたい

積水ハウスの選考はまずWebテスト、次に即日設計とプレゼンテーション、そして筆記テストと役員面接という流れでした。即日設計は1時間で家の設計をし、2人の面接官に30分間プレゼンをしました。設計の材料は紙に書かれた家族構成や家族の趣味、要望です。私が大切にしたのは要望通りだけではなくプラスアルファの提案でした。ゴルフが趣味のお父さんには道具の収納スペースを作ることが多いですが、ベランダでバタールゴルフができる工夫と説明を加えました。積水ハウスは自由なデザインが魅力なので、さまざまな刺激を受けながら楽しんで設計していきたいです。

大学生活では今しかできないことにチャレンジして

3年次の8月、「フィリピンで難民の方のためのシェルターを建設する」というプログラムに参加しました。摂南大学とフィリピンのサンカルロス大学の学生と一緒に現地の材料を使って設計から施工を行うというものです。現地滞在は10日間なので、設計までは出発前にスカイプを使って完成させました。言語や文化が異なる中、一緒に作業する難しさを知るとともに、世界に視野を向けて考えることの大切さを学びました。経験は糧となります。ぜひ今しかできないことにチャレンジしてください。



内定先

積水ハウス 株式会社

フィリピンで
現地大学生とともに
シェルターを建設しました。

就活は今までの自分を振り返ることからスタート!

薬学部 薬学科 6年次
本田 昌平さん



内定先

アステラス製薬株式会社

1年間の自己分析で強みを確認

就職活動は今までの自分を振り返るとても大切な時期でした。また、一人のできるものでもありません。私が1年間の自己分析を通して自分の「スピード感」を強みとして見つけることができたのは、就職セミナーやインターンシップを終えると必ず友人とともに良い点、悪い点をお互いにフィードバックしたからだと言えます。そこでは馴れ合いにならず、シビアに評価し合いました。自己分析も自分の視野だけでは限度があります。友人のおかげでそれが多面的、客観的になり、自身の中で感じていたものが他者との比較においても確認でき「スピード感」は私の確かな強みと認識できるようになりました。

10社のインターンシップに参加

5年次にかけて、内定先のアステラス製薬を含む10社のインターンシップに参加しました。自己分析をしたからこそ、「会社のことを知る」「企業戦略を学ぶ」機会としてインターンシップの重要性を強く感じました。就職活動と並行して、大学では日本薬剤学会口頭発表を目標に、指導教員や大学院生、チームの後輩とディスカッションを重ねていました。実験方法の工夫や失敗の原因探究という一連の取り組みにおいても、「スピード感」を生かして率先して意見をまとめ、チームに貢献しました。最終的に製薬会社6社から内定をもらい、その中からアステラス製薬に入社することを決意しました。

MRとして医療に貢献していく

大学近くの弁当店で長らくアルバイトをしていました。売上向上に貢献するため、「早く商品を提供する」「ポストアップ作業を行い一人でも多く商品を届ける」と目標を持って行動しました。辞める時、店長から「本田君がアルバイトリーダーで本当に良かった」という言葉をいただき忘れることができません。就活でもそうですが、後輩の皆さんには、いろんな場面で周りの方の教えを一つ一つ吸収し、実行することで自分の成長につなげてほしいと思います。これからMRとして社会に出ます。新薬の研究開発に懸ける一体感と上昇志向の勢いを持つアステラス製薬に身を置き、医療に貢献していける喜びと責任をかみしめながら、私の強みを生かし、患者様にいち早く新薬を届けたいと考えています。

就職活動とともに頑張った仲間。これからはそれぞれ違うフィールドで羽ばたきます。

長く働ける環境を視野に入れて!

看護学部 看護学科 4年次
大平 千尋さん

早めの病院探しとスケジュール管理を

看護学部は病院実習が多く、就活に当てられる時間が限られます。だからこそ、早くから説明会に参加し、興味のある病院を見つけておくください。私はまず、3年次の5月に病院合同の説明会に参加しました。就活のために夏休みを有効に使うには、その頃から事前準備とスケジュール管理をしておくといいです。その後は、病院実習の落ち着いた3年次終わりの春に、まとめて4つの病院説明会とインターンシップに参加して、最終的に希望病院を決めました。採用面接も実習の合間になるので、計画的に進める工夫が必要です。大学の連携病院でもある星ヶ丘医療センターは、4年次の5月に学内で面接を受け、6月に内定をいただきました。面接官は4人いて、時事に関する質問もありました。

自分と向き合って出した結論

祖父母のいる千葉県の病院見学会にも参加しました。倒れて療養中の祖父の入院する病院に就職すれば、何かあった時に駆け付けられる。その思いは以前からありましたが、病院実習を通して、自分自身の働きやすい環境が一番だという考えにたどり着きました。仕事でストレスを抱えることも多く、そんな時は親と一緒に看護を学んだ友達、大学の先生に思い切り相談できる……。長く働きたいので、自分がしんどくなる状況も含めて結論を出しました。

中学時の「職場体験」が就職先に

実は中学2年の時、「職場体験」で星ヶ丘医療センターの産科病棟に3日間行っています。ナース服に袖を通し、看護師さんが赤ちゃんのケアをしているのを見つめる日々でしたが、この体験から私は将来の夢を看護師一本に絞りました。自宅から近くて家族が入院したこともある身近な病院。大学の実習先として何度も通い、新人研修制度*の整っている点にも魅力を感じました。地域のために医療を提供しているこの病院で、地域の人間として、精一杯貢献していきたいです。

*専門知識や技術を段階的に身につけられるよう2年間かけて研修を行う(ラダー研修)制度。



内定先

(独)地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター



バスケットボール部の後輩が作ってくれたミサンガ。遠征に行って試合のために泣いたり笑ったり、一番の思い出です。



摂南大学の特徴ある取り組み

学生生活

大学祭にぎわう!!

第42回摂大祭

テーマ

「color(カラー)」

10月8日(土)～10日(月・祝)

in 寝屋川キャンパス

第5回摂友祭

テーマ

「Setsuyu(摂友) theater(シアター)」

10月10日(月・祝)

in 枚方キャンパス



摂友祭は、連携病院など医療関係機関の協力もあつて医療色の濃い内容で実施できました。枚方公済病院による「心肺蘇生法講習会」や枚方市保健所協力の下、ボランティア部じよいふるが実施した「HIV予防啓発活動」に多数の来場者があつたほか、大阪府赤十字血液センターによる「学内献血」も昨年度を上回る協力を得ました。新たな取り組みとして、八幡警察署による「振り込め詐欺防止ショートコント」や、中・高校生を対象とした「プレナース体験」を実施。さらに看護学部は、昨年度巣立つ第1期卒業生を迎えるホームカミングデイを開催しました。

連携機関ならびに地域関係者の皆さまの協力を得て、今年度も大盛況の大学祭となりました。

なで上りた
イベントは
多岐にわた
り、盛りだ
い会場は大
模範店では
模範店では
大いに盛り
上がりまし
た。



体育会
交流戦



文化会
交流会



常翔学園3大学

課外活動団体交流戦・交流会を開催

常翔学園が設置する3大学(摂南大学・大阪工業大学・広島国際大学)の課外活動団体による体育会交流戦・文化会交流会を実施しました。

体育会は、昨年6月6日・7日に摂南大学寝屋川・枚方キャンパス、大阪工業大学大宮・枚方キャンパスで実施。各試合会場で大戦が続き、熱戦が繰り展開されました。

文化会は、昨年11月19日・20日に大阪工業大学OITホールで音楽演奏やパフォーマンスを繰り展開、会場を大いに沸かせました。会場ロビーでは、芸術系クラブによる作品展示を行い、日頃の活動成果を披露しました。

図書館

『全国大学 ビブリオバトル2016』京都決戦』に 本学チャンプの長島さんが出場!!



摂南大学からは文化会・体育会計43団体、599人(3大学合計105団体、1109人)が参加し、多くの学生が交流する有意義な機会となりました。

昨年11月22日、「全国大学ビブリオバトル2016」京都決戦予選会」を本館1階ラーニング・コモンズで開催しました。予選会では、5人のバトル(発表者)が各々独自の語り口で持ち寄った本を紹介し、参加者による投票の結果、チャンプ本は長島貴さん(外国語学科4年)が紹介した『脱洗脳教育論』(吉米地秀人著・牧野出版)に決定しました。

長島さんは12月4日開催の関西Aブロック地区決戦に出場し、6大学7人のバトルが激しいバトルを繰り展開中、見事チャンプ本を獲得。昨年に続く本学の2年連続全国大会出場を決めました。

12月18日、京都大学時計台ホールで開催の全国大会「全国大学ビブリオバトル2016」京都決戦」で全国から集まったバトルと

対戦した長島さんは、素晴らしいパフォーマンスを披露。惜しくも準決勝で敗れましたが、本学の名を全国に広める活躍でした。来年度は全国大会で決勝に進出するバトルが出てくれることを願います。

での中
勝表
決中
準表
発長



さかなクン 特別講演会

『いのちを支える自然の力！
海と環境の話』を開催

1月11日、テレビ番組などでおなじみのさかなクンを講師に迎え、「いのちを支える自然の力！海と環境の話」をテーマに特別講演会を開催しました。教室を埋め尽くす約350人の学生らを前にさかなクンは豊富な魚の話題をユーモアあふれるパフォーマンスとともに披露。会場は笑いと感嘆の声に包まれました。

講演するさかなクンの前に置かれた水槽には、生態環境学研究室（理工学部都市環境工学科）の学生が淀川・野瀬で採集した魚が泳ぎます。「かわいー！」とのぞき込むさかなクン。即興で得意のイラストを描きながら名前の由来や生態についても分かりやすく解説しました。

魚に関するクイズの正解者にはイラストのプレゼントもあり、さらに盛り上がる会場。さかなクンは、水銀汚染で「死の海」と言われた水俣湾が、生物の力できれいな海に



復活していること、その一方で、廃棄されたごみで海が汚染され、それを食べたウミガメが死に、細かなマイクロプラスチックが蓄積された魚を人間が口に入れているという深刻な問題も提起しました。学生からは「これから環境のことをもっと考えたい」「海や川の生物について楽しく知識が得られ、興味湧いた」などの感想が聞かれました。

この講演会は、学生の教養の幅を広げ、目標や夢に向かって一歩踏み出す力を得てほしいと企画し、3人の学生スタッフが運営を担いました。



Environmental Protection

環境保全

寝屋川キャンパスの 分煙環境改善に取り組むCCS

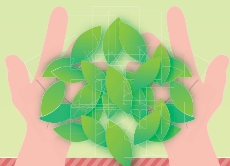
学内における環境への負担軽減を目的として活動しているボランティア団体、キャンパスクリーンサポーター（略称CCS）が寝屋川キャンパスの教職員に対して喫煙に関するアンケートを実施しました。CCSメンバーは昼休みや放課後にさまざまな活動を行っており、その中でとくに清掃活動を通して喫煙区域周辺の吸殻のポイ捨てが多いことに大きな問題を感じました。そこで環境を改善していくため、まず教育現場に従事する教職員から喫煙可能区域の環境等に関する認識・意見を聴取しようとアンケートを実施。配付から回収、入力作業は夏休みにかけて協力し合い取り組みました。まとめたアンケート結果は今後のキャンパス分煙環境の改善に生かしていきたいと意気込んでいます。

ISO14001 定期審査に合格

昨年11月16日から18日までの3日間、ISO14001の定期審査が実施されました。今回は2015年1月に認証を取得してから2回目の定期審査で、本学の環境マネジメントシステムが継続してISO14001の要求事項に適合しているかどうか審査されます。

今回審査対象となった部門では改善指摘事項はなく、適正にシステムが運用・維持されていることが確認されて合格となりました。審査に当たっては、学生の課外活動団体であるエコシビル部やキャンパスクリーンサポーターの活動が「グッドポイント」として高く評価されました。

私たちは環境にさまざまな影響を与えながら日々の生活を送っています。環境に与える悪い影響を減らし、良い影響へ変えていく取り組みを本学はこれからも推進していきます。例えば、ごみの分別を徹底することでごみを資源に変えることができます。暖房の設定温度を1度下げただけでも使用電力に大きな差が出ます。一人ひとりの小さな心掛けが環境に与える影響を大きく変えていきます。過ごしやすく快適な環境を維持していくために、「ほんの少しの心掛け」をみんなで実践していきましょう。



交流事業

地域交流

「すさみ町魅力創出
ワークショップ」に
学生が参加

「若者の視点×現場の視点」
観光産業振興アイデア」

2014年に本学と和歌山県すさみ町は、和歌山県「大学のふるさと」協定を締結しました。これまでPBプロジェクトなどを通して地域活性化のためのさまざまな活動を展開しています。

昨年11月と12月にすさみ町で開催の「すさみ町魅力創出ワークショップ」には11人の学生が参加しました。本ワークショップは、同町が国から地方創生加速化交付金を受け、ワークショップを通して町の魅力を再発見するとともに地域活性化のアイデアを出し合い観光産業振興につなげていく取り組みです。行政、観光協会、商工会のメンバーに加え、本学を含めた町外の大学生が参加し、総勢22人のワークショップとなりました。

成果報告会では、
「よそ者、若者」の
視点で考えられた
アイデアが
提案されました。



町民や関係者、
他大学の学生とも
積極的な意見交換が
なされた
グループワーク

第1回ワークショップでは、同町職員から町の概要説明を受け、観光用プロモーション映像を視聴した後、道の駅すさみや町内各所を見学して、まずは人口減少が進む町の現状を把握しました。その後、グループに分かれて各人が町の魅力や見学で感じたことを書き出し、主に「魅力」と「課題」というテーマに区分してディスカッションを行いました。本学からは、これまでも同町で地域活性化の活動を行ってきた学生が参加しており、若者の視点から積極的なアイデアが出されました。

続いて第2回ワークショップが開催され、1日目はグループごとに設定したテーマに沿ってフィールドワークを実施しました。地元漁業従事者や移住・定住者へのヒアリング、観光客への来町目的や観光施設に対する要望調査など、学生も町内の各所を回って積極的に活動を展開しました。2日目は前日の調査結果をまとめ、成果報告会で発表しました。坂口唯之すさみ町副町長をはじめ、市川雅章和歌山県西牟婁振興局

地域振興部長、坂口充寿紀陽銀行周参見支店長、和歌山大学の先生方が聴講する中、国道42号のにぎわいや宿泊客の獲得向上を目指すアイデア等が提案されました。今後はこのアイデアをより具体的なものにし、実現に向けて推進メンバーの組織化を目指します。ワークショップに参加した森山甲太郎さん（理工学部機械工学科3年）は「すさみ町の若者が減少していく中、私たち大学生の若者目線による新たな施策提案が必要であることを実感しました」と地域貢献活動の重要性を再認識していました。

本学では学生の主体的な学修を促進し、成長を支援する教育を行っています。地域での現場学修においても、学生を支えるネットワークを形成して活躍の場を提供していきます。



国際交流

海外に飛び出そう！

夏期と春期の長期休暇期間を利用して行ける海外研修プログラムがあります。

昨年は、夏期にカナダ語学研修、韓国・タイ・台湾・メキシコ文化体験のプログラムを実施しました。春期には、台湾中国語研修、フィリピン語学研修（英語）もあります。学生はそれぞれの国で語学の勉強だけでなく、その国の文化を体験したり、フィールドトリップに行ったり、現地の人と

韓国文化体験
プログラムで着る
民族衣装を
参加者



の交流を楽しんで一回り大きくなってキャンパスに戻ってきます。また、現地でサポーターをしてくれた学生が、今度は本学に留学するなど交流の輪も広がっています。各学部では、特長を生かした海外インターンシップなども実施しているので、自分に合ったプログラムを見つけてください。海外に出るチャンスは思いのほか身近なところにあります。貴重な体験をするために飛び出してみませんか？若いうちにたくさんを経験してほしいと思います。

ご質問等は国際交流センター（寝屋川キャンパス3号館4階）まで。





法学部



法学部の専門キャリア教育

新入生に毎年実施しているアンケートによると、卒業後に希望する職業の上位は、警察官・消防士、地方公務員、国家公務員、民間企業の順となっており、公務員関係を目指する学生が半数以上占める傾向が続いています(図一)。

法学部生が卒業後に希望する職業
2016年度のアンケート結果から

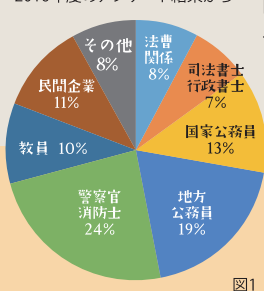


図1

法学部では、こうした学生の希望進路に合わせ、①法律学特修、②企業法務、③地域政策、④スポーツ法政策の4コースを2年次から設け、専門キャリア教育を重視したカリキュラムを編成しています。各コースでは、目標とする職業に必要な不可欠な科目を基礎から応用へと段階的に教授していきます。公務員志向の学生が多いにも関わらず、大半が民間企業に就職しているように、法律学習を通して、どの職業にも必要とされる知識力・思考力・言語力・判断力が身につくので、進路先は多岐にわたります。

法学部の専門キャリア教育体系図

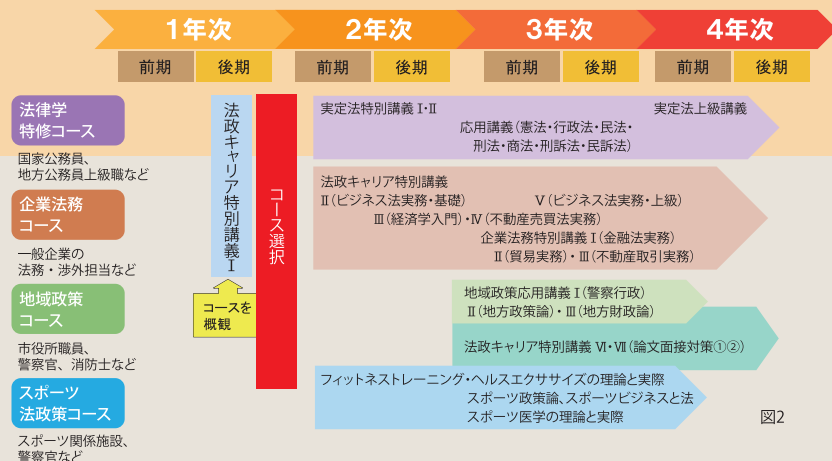


図2

外国語学部



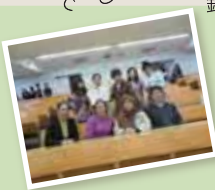
ディズニー国際カレッジ・プログラムに2人目の合格者

英語コースの大賀辰次朗さん(3年)が、2回の英語面接に合格しバレンシア国際カレッジプログラムに参加することが決まりました。プログラムの期間は2017年2月から7月下旬で、アメリカ・フロリダ州にあるディズニーワールドにて週5日のインターシップ体験、および週1〜2日バレンシア大学でビジネス・ホスピタリティ関連の授業を受けます。外国語学部では、本プログラムへの参加者は2人目となりました。



インドネシア語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞

昨年11月20日、南山大学で行われた「第9回インドネシア語スピーチコンテスト」でインドネシア・マレー語コースの楠本礼奈さん(4年)が最優秀賞を受賞しました。インドネシアでの一年間の留学経験および国際交流基金の「日本語パートナーズ」としての5カ月間の滞在経験をもとにスピーチをしました。楠本さんは副賞として贈呈されたインドネシア往復航空券目録を手にも、これからもインドネシアとの相互交流の架け橋となるよう努力いたします」とインドネシア語で応えました。



大学推薦で国際交流基金派遣事業「日本語パートナーズ」タイ派遣に2人が合格

外務省が所管する独立行政法人国際交流基金と摂南大学は昨年6月に連携協定を締結しましたが、この度、国際交流基金による「日本語パートナーズ」事業タイ派遣の選考に、大学推薦を受けた国際コースの宮本夏奈衣さんと英語コースの藤原正太さん(ともに3年)が見事合格しました。2人は本学部で日本語教員養成課程を履修し、日本語教育について学んでいます。3月に国際交流基金で約1カ月の研修を受け、5月から来年3月までタイの高校でティーチングアシスタントとして日本語や日本文化を紹介する予定です。

学生参加の各種イベントを開催しました

インドネシア中高生との交流イベント(10月3日)



イギリスの劇団ホワイトホースシアターによる英語の演劇公演(10月13日)

英語、中国語、スペイン語、インドネシア・マレー語各種コンテスト(11〜12月)

外国語学部就職セミナー(11月15日)



インドネシアのストモ博士大学タントリ先生による講演会(11月22日)

アメリカ・ニューポートニューズ市からの姉妹都市交流訪問団歓迎会(11月22日)

英語教育フォーラム(12月13日)

経済学部

卒業研究論文発表会

1月20日、4年次生による

『卒業研究論文発表会』を開催しました。各ゼミの担当

教員から推薦された14チーム(計25人)が参加し、2会場に分かれて発表を行いました。学生らは大学4年間の集大成として作成した卒業論文を発表し、その内容は本学部教員・審査委員により評価され、各会場の中から最優秀賞・優秀賞・特別賞の3賞が選出され表彰を受けました。

ゼミ対抗
プレゼンテーション大会

1月21日、学部恒例行事『ゼミ対抗プレゼン大会(1年〜3年次生対象)』を開催しました。

今年度は計21チームが参加し、2会場に分かれて1年間学習した成果をリレー形式で発表しました。テーマは、ふるさと納税や地方創生の実践から観光産業の行方、さらには日本企業の海外進出に関するものまで



多岐にわたっていました。学生らは、日頃の学習成果を人前で発表するという、いつもと違った緊張感を味わいながら、今後の専門学習への意欲を高めることができました。

TOPICS

日銀グランプリで
奨励賞を受賞!

日本銀行主催の「第12回日銀グランプリ」キャンペーンからの提言として、本学部3年次生のチームが奨励賞を受賞しました。受賞者は加藤大雅さん、小宮山誠さん、花谷政則さん、山下澄人さんの4人で、彼らがまとめた論文は『空き家で地域再生〜問題意識から貢献へ〜』と題し、寝屋川市および北河内地域における空き家を調査し、その施策を提案するものでした。

この大会は、大学生が金融分野について論文・プレゼンを行うコンテストで、今年は全国38大学から計118チームが応募し、書類審査を経て決勝進出5チームおよび8チームが奨励賞に選定されました。本学のチームは惜しくも決勝進出を逃しましたが、決勝チームに次ぐ優れた内容であると評価され、見事に奨励賞受賞となりました。

学生らが所属する植杉教授のゼミでは昨年、先輩たちが同コンテストで佳作賞を受賞し、2年連続の受賞となりました。



経営学部

難関の『公認会計士』試験に
在学生が合格!

経営学科3年の辻有将さんが難関で知られる『公認会計士』試験に見事合格しました。これまで卒業後に合格した例はたくさんありましたが、在学中の合格は大学初の快挙です。

辻さんは農業系高校在学中に簿記検定1級に合格。大学入学と同時に



「在学中の公認会計士試験合格」を目標にし、本格的な受験勉強をスタート。自宅のある奈良県から3時間の通学時間も貴重な勉強時間として活用し、1年次で早くも短答式試験(第1段階)に合格。2年次のゼミ選択では、会計ファイナンスコース・高尾ゼミ(専門・会計学/経営財務論)に入り、さらに会計学に関する学びを深め、昨年11月に論文式試験(第2段階)を見事に突破しました。

授業のある日は5〜6時間、土日は10時間勉強していたとのこと。授業の課題や就職活動など、たくさんプレッシャーがかかる中でも目標を達成する意思の強さが感じられます。

すでに大手監査法人に就職が内定しており、1月からは会計教育研修機構などが実施する実務補習を受講します。卒業研究もあり、勉強の量はこれまでよりさらに多くなるかもしれません」と言いながら、金融

監査などを担当する会計士を目指した次の挑戦を始めています。
辻さんのさらなる活躍とともに、偉大な先輩を目標とする後輩が育つことを期待しています。

インドネシア・バリ島で
インターンシップを実施

昨年8月26日〜9月4日の10日間、インドネシアのバリ島で実施した海外ビジネスインターンシップに、授業担当の佐井英子教授(経営学科)引率のもと学生6人が参加しました。

同インターンシップは、日本とは異なる文化や価値観を持つ海外で、相手を正しく理解し、尊重する姿勢や柔軟な発想力が必要となることを実感して修得することを目的に今年度からスタート。事前指導を受けて出発した学生たちは、現地の大学で電子アルバム作成指導や、旅行会社ではオプショナルツアーの企画発表を行いました。また、常翔学園高校・常翔啓光学園高校から提供を受けた書道道具を持参してインターンシップ先の学校に贈呈、日本文化の課外活動として道具の説明や実演指導を行い大変好評でした。

さまざまな体験を経て、多様性を受け入れることや物事に臨機応変に対応することの大切さを学んだ学生たち。現地学生の日本語能力の高さや向上心にも驚き、強い刺激を受けたようです。





理工学部

Faculty of Science and Engineering

生命科学科

交野市「中学生サイエンスラボ」
―次世代のサイエンティストと
理科教員の育成をめざして―



生命科学科は、交野市教育委員会と協働で
同市中学生を対象とした理科教室（サイ
エンスラボ）を4年前から継続して実施して
います。「次世代を担う子どもたちの理科
離れの解消と「次世代の理科教員の育成を
兼ね備えたプログラムで、年間約9回の理科
実験を通じて結果が得られる面白さを体験
します。身近な科学技術が理科を基盤に成り
立っていることや、知りたいことを自分で
計画して得ることの大変さと楽しさを、参加
中学生だけでなく教員志望の生命科学科生
も実感することを目的としています。中学生
から「知りたい理科の内容」を募り、学生は
教員の指導のもと、約2時間のうちに結果
が得られるよう実験テーマや内容を考へて
実施していきます。このように計画から実施
に至るまで全員参加型のスタイルで行い、
実験実施中には各自がさまざまな到達点を
設けて真剣に取り組んでいます。

教育プログラムの効果が実際に現れるには
多くの年月が必要です。このプログラムを
通じて参加した中学生は次世代を担うサイ
エンティストへ、指導に加わった大学生は次の
サイエンティストの育成を担う教員へと
いった「ポジティブループ」が実現することを
期待しています。

第8回「物理の世界に融れてみよう！」にてガリレオ温度計作成中

建築学科、 住環境デザイン学科

摂南大学地域拠点化
プロジェクト報告
―建築系学生53人と
教員の取り組み―

2015年10月30日、
常翔学園は「寝屋川キャ
ンパスに隣接する日本
ペイント寝屋川事業所
の土地約3万8000
平方メートルの売買
契約を締結。土地取得
によりキャンパスの
面積は約1.4倍になる」
ことを発表しました。理工学部には2つ
の建築系学科（建築学科と住環境デザイン
学科）があり、日常的に大学周辺地域に協力
をいただいて、地域資産を活用した取り
組みを展開しています。具体的には、地域
住民と行う災害訓練、水辺環境調査、空き家
調査、八木郎（香里園）保存活動などです。



このように「建築」を切り口に、地域密着型
活動を続ける教員・学生にとって、今回の
キャンパス面積拡大の発表は「大学のキャン
パスはどうあるべきなのか？」を改めて考え
る良い機会となりました。そこで、2016年
度摂南大学Smart and Human研究助成金
を得て、本学周辺の地域特性を模型作製を
通じて探り、地域拠点となる大学を目指す
ための空間構成要素を読み取る活動を
開始しました（課題名：摂南大学が地域の
拠点となるために必要な空間的条件の整
理）。このプロジェクトには両学科から教員
10人、学生53人が参画しています。

各敷地に建物を貼りつける様子

模型は、京阪電車の寝屋川市駅と香里
園駅と淀川を含む3km×4kmの範囲を
1000分の1で表現することにしました。
また、ベースとなる敷地はシナベニア材を
用い、GIS (Geographic Information System :
地理情報システム) データから道路や水路
などのデータを加工し、最新型レーザー
カッターで「要素ごとに彫刻する」方法を
選択しました。これにより30分割した木材
がミリ単位で調整できるようにしました。
また、エリア内の数万棟の建物はバルサ材を
用いて作成することとしました。

昨年10月22日、総勢60人が1号館のプレ
ゼンテーションロビーに集合し、完成した
27枚の敷地模型を並べた後、バルサ建物を
みんなで貼り合わせました。これまでの
個々の作業（苦労）が、初めて全体として
見えた日でした。11月19日には、建築学科
デザインフォーラムのブレイイベントで模型
展示および中間報告を行いました。ひたすら
バルサ材を切つて一人数千棟の建物を作つた
建物班。ソフトウェアやレーザーカッターの
使用に苦戦したデータ班。いずれも、技術的な
困難さより、スケジュール管理や班内調整の
難しさを伝えてくれました。一方で、終わつた
後の充実感、またそれを基にした自分自身の
今後のチャレンジについても語ってくれました。
建築系2学科で初めて行った本プロジェ
クトは、2017年2月まで続きました。

本来の目的である「空間構成要素
を読み取る」には、
これからするべき
ことが山積みです
が、ここまで教員と
対等の立場でプロジェ
クトを推進してくれた
学生たちを心から誇り
に思います。



27枚の木材敷地模型を初めて合わせた日

機械工学科・ 電気電子工学科

合同同窓会を開催

昨年10月8日、
機振会（機械工学
科同窓会）と電気
会（電気電子工学
科同窓会）の総会
を寝屋川キャンパ
スのスカイラウ
ンジで合同開催
しました。今年度
の試みとして「寝
屋川キャンパス内
で行ったこと」、さ
らに「摂大祭の期
間中であつたこ
と」が好材料とな
つたのか、多くの
卒業生、とくに若い世代の卒業生が参加
し、例年以上の盛り上がりとなりました。



参加者全員での記念撮影

総会では、現役学生が研究内容を紹介
するポスターセッションも行われ、活発な
議論が展開されました。卒業生にとっては
母校でどのような研究が最近行われている
のかを詳しく知る良い機会となり、現役
学生にとっても社会で活躍する先輩を相手
に緊張しながら行つた発表は良い経験と
なつたようです。

総会の後に行われた懇親会では、近況
報告や思い出話ばかりでなく、最新技術の
話で盛り上がるなど、技術者を養成する
両学科ならではの光景が見受けられました。

学会賞授賞者一覧

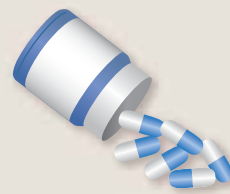
- 第21回日本病態プロテアーゼ学会学術集会
「Young Investigator Award」受賞
中村里菜さん(学部6年)
- 第29回バイオメディカル分析科学シンポジウム
「星野賞優秀発表賞」受賞
中村里菜さん(学部6年)
- 第66回日本薬学会近畿支部総会・大会
「優秀ポスター賞」受賞
小池咲里さん(学部6年)、堀切優也さん(学部6年)、
山田真吾さん(学部6年)、北村桃子さん(学部5年)、
高橋実友さん(学部5年)、田中美希さん(学部5年)
- 第48回日本医学教育学会大会
「優秀演題賞」受賞
林奈央さん(学部5年)
- 第18回応用薬理シンポジウム
「優秀ポスター賞」受賞
増田陽介さん(学部5年)、山田彩加さん(学部5年)

災害時に薬剤師を活用することで、避難所内の衛生環境改善や災害関連死の減少が期待されており、本訓練は、薬学部の安原智久准教授(薬学教育学研究室)が東日本大震災で実際に起きた事例を基に作成したプログラムを使用し実施しました。訓練当日は、薬学教育学研究室・防災チームの学生も運営に協力。訓練内容は「薬剤師の知識／避難所で活用」との記事で8月30日付の日本経済新聞に大きく掲載されました。

薬学部の人材養成に関する目標は「高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成すること」です。その目標を達成するには、「自己研鑽に励み、授業・実習等における知識・技能・態度を高め、地域貢献等に努めることが必要不可欠です。」



受賞者続出！
学会発表で頑張る学生たち



薬学部



本学教員が作成したプログラムにて「薬剤師のための避難所運営訓練」を実施!!



枚方市薬剤師会と共に行った避難所運営訓練

昨年7月24日、枚方市内の会議室に薬剤師ら38人が集まり、避難所運営訓練を実施しました。この訓練は、本学も構成団体の一つである「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業(災害医療対策のための連携事業)の一つとして、本学と枚方市薬剤師会が主催したものです。

看護学部



初めての卒業生の集い
「ホームカミングデー」を
開催!

看護学部では、昨年度初めての卒業生を送り出しました。働く楽しみや充実感を感じながら社会で活躍する卒業生の集いとして、4年間の苦業を共にした仲間と再び集い、気分転換することで、キャリアの継続につながるように期待して、昨年10月10日に「ホームカミングデー」を開催しました。

85年の卒業生のうち、27人が参加し、各自近況報告をした後、自由に歓談しました。「患者さんに頼りにされてとてもやりがいがある。」「希望した部署で働くことができ、大変だけれど楽しい。」「仕事に行くのは辛くてしんどいけれど、同期の仲間と頑張りたい。」「実際に働いてみて大学時代に教えてもらったことは大事だと分かったからぜひ後輩に伝えたい。」など、さまざまな声が聞かれました。どの卒業生も終始笑顔で、時間があつという間に過ぎていきました。

その後、同日開催の

摂友祭に参加したり、後輩と歓談したりする様子が見られました。良い気分転換になり、今後も摂南大学看護学部で学んだことを活かして、社会で頑張ってください。



自由歓談の様子

大学院看護学研究科公開講座を開催しました

大学院看護学研究科は昨年12月3日、地域医療研究センターと共催で近隣病院等実習先の看護職者および本学看護学研究科生・看護学部生が将来の看護職者の可能性の理解を深めることを目的に公開講座を開催し、約200人が参加しました。

公開講座では、昨夏、米国ロサンゼルスで8日間にわたり実施した海外医療セミナーに参加した学生による報告の後、米国カリフォルニア州にあるTorrance Memorial Medical Centerで創傷・オーストミー・失禁ケア看護師(WOCN)、ナースプラクティショナー(ND)として活躍しているJorden鈴木麻希氏が講演。米国における看護職者の違いや日本の医療と看護の未来について解説があった後、自身の経歴を紹介され、夢を見ることの大切さ、来たるチャンスのために常に準備万端にしておくこと、チャンスには思い切った行動することの大切さを述べられ、日本で看護学を学ぶ学生へ向けた激励の言葉がありました。

また、公開講座と同時開催された大学院入学個別相談会では、大学院の授業内容や提出書類について熱心に質問する参加者の姿がありました。



Jorden 鈴木麻希氏による講演

情報教育支援

デジタルサイネージを導入しました

近年、駅構内や商業施設で見かけるデジタルサイネージを寝屋川キャンパスの10号館1階と4階に導入しました。60インチのタッチパネルを搭載しており、利用者が見たい情報のメニューボタンをタップすれば、すぐにそのコンテンツが再生される仕組みです。

現在は、情報処理室の自習利用可否状態や空席状況の照会、学内イベントの周知、大学関連動画の再生の他、天気予報やバス時刻表などを掲載しています。在学生からは「理系学部もある私立総合大学らしくていい」、「自習できる場所がすぐに分かるので便利!」、「もっと色々な場所に増設して欲しい!」などの声が寄せられています。

寝屋川キャンパス

バスでの試験的稼働とコンテンツ制作も順調に進んでおり、2017年度には枚方キャンパスにも導入を予定しています。



新着ニュース

タッチ操作でニュースの詳細を表示することができます。

メインコンテンツ

開室・空席状況等を表示しています。

メニューボタン

タッチ操作によりメインコンテンツを切替可能です。



Office 365アプリ紹介

本学のメールシステムはMicrosoft Office 365を導入しており、スマートフォンでもメールを送受信することが可能です。ポータルシステムからのお知らせの受信や先生への課題提出、就活中のメールチェックをスマートフォンから迅速に行うことができます。

Office 365用アプリ「Microsoft Outlook」のインストール方法や設定方法については、情報メディアセンターWEBサイト <http://www.setsunan.ac.jp/~center/> をご確認ください。



研究支援

大学発「知」の見本市 「イノベーション・ジャパン2016」に出展しました

昨年8月25日・26日の両日、東京ビッグサイト(東京・有明)で、「イノベーション・ジャパン2016」大学見本市&ビジネスマッチング(主催:国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が開催されました。本学からは、理工学部機械工学科岸本直子准教授および理工学部電気電子工学科西恵理講師の研究成果について、展示を行いました。ブースには多くの企業関係者などが訪れ、展示内容について詳しく説明を行いました。



プレゼンテーションを行う岸本准教授

MOBIOテーマ別 大学・高専合同研究シーズ発表会 にて発表しました

昨年9月7日、クリエイション・コア東大阪においてMOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)産学連携オフィス連続企画、企業の技術開発に役立つテーマ別大学・高専合同研究シーズ発表会が開催されました。本学からは、理工学部電気電子工学科工藤隆則講師が研究成果を発表しました。



発表会場の様子

「ビジネス・ エンカレッジ・フェア2016」に 出展しました

昨年11月9日・10日の両日、マイドームおおさか(大阪府中央区)で、関西の大学や企業等による先進技術の展示会「ビジネス・エンカレッジ・フェア2016」(主催:池田泉州銀行)が開催されました。本学からは、理工学部電気電子工学科西恵理講師および薬学部薬学科田中龍一郎助教の研究成果を展示し、来場者へ展示内容について詳しく説明を行いました。

参加された保護者の皆さまからの声

岡山

経済学部2年次

地元岡山にて教育懇談会が開催されるということで、初めて参加させていただきました。ゼミ担当の先生と直接お話をすることができ、こちらが不安に思っている成績のことなど、大学での様子を伺うことができました。成績表だけでは分からなかった出席の状況を知ることができ、本当に良かったです。

その後の自由懇談では、同じテーブルになった先生や保護者の方とも談笑する機会となり楽しいひと時を過ごすことができました。せっかくの機会ですので、もう少し多くの保護者の方々の出席があれば良いと思います。大学関係者の方々には遠方まで足を運んでいただき、大変感謝しております。

難波

経済学部3年次

今回初めて参加させていただきました。本学会場での教育懇談会とは日程が合わず、難波会場への参加となりました。今まで案内状が届いても、「まだいいかな」とやり過ごしていましたが、息子も3年次になり、一度は参加しておこうという軽い気持ちで参加しました。就職相談については、実際に息子の担当学部の方とお話することができ、真剣にサポートしていただいている誠意が伝わり、本当にありがたく思いました。自由懇談では、先生や保護者の方ともお話しでき、大学が親にとってぐっと身近に感じられ、本当に良かったです。できれば1年次から参加すれば良かったと思いました。来年もぜひ参加させていただきたいと思います。

京都

理工学部3年次

懇談の内容は、一番心配な就職の話が中心でした。就職課の方もゼミの担当の教員からも、とても安心できるお話をいただき、少しほっとしています。

また、会の最後に学部長が仰った摂南大学の将来構想や対外評価上昇のお話も、安心へとつながりました。摂南大学の評価が高まることは、学生の将来に良い影響を与えることにもつながると思います。摂南大学の益々の発展を心よりお祈りします。

奈良

(学部等不明)

息子が大学に入学し、難しい年頃ということもあり、親とは話をする 것도 ほとんどなくなり…。学校での状況が全くと言っていいほど見えなくなっていました。そんな時、「教育懇談会」のパンフレットを見て、一度参加してみようかなと軽い気持ちで夫婦で参加させていただきました。

個別懇談では、成績・出席状況・授業態度・友人関係等、息子が今、興味を持っていること等をお話しいただき、真面目に勉強し友人と楽しく過ごしている姿を垣間見ることができて、大変安心することができました。大きな大学であっても、先生が一人ひとりの学生をちゃんと見てくださっていることに驚き、心が軽くなりました。また機会があればぜひ参加させていただきたいと思います。

福岡

薬学部3年次

入学当初に比べると自分なりの考えも持ち、親との会話も少なくなりがちです。最近は研究室のことで悩んでいるようで、久しぶりに相談をさせても親に経験がない分、適切に助言してやることできませんでした。

今回そのことで先生に相談をしたところ、子どもが求めている言葉・考え方を教えていただき、嬉しく思いました。これから年次が上がるにつれ、まだまだ親子共々悩むことがあると思いますが、その都度、先生方に相談して対処していきたいと思います。後援会の皆さんとも話ができ、有意義な時間を過ごせました。

京都

薬学部4年次

毎年、春期は本学(枚方)会場で、秋期は京都会場に参加させていただいております。恥ずかしながら、息子が受験するまで摂南大学については場所も設置学部も存じませんでしたが、今ではご縁があつてお世話になれたことを本当に良かったと感謝しております。そう思える1番の理由がこの年2回の教育懇談会です。

本学会場においては、担任の先生から、単にうわべの成績だけでなく、日々の授業態度や交友関係といった息子から聞くことのできない大学生活の様子を教えていただくことができました。また、学外会場においては、他年次の保護者の方と交流させていただくことで、薬剤師を目指すためのOSCE、CBT試験、実習や国家試験について抱くさまざまな不安や疑問に的確にアドバイスをいただくことができます。来年も再来年も都合がつく限り、参加したいと思っています。

家計が急変し、学費の支払いに困った場合は

奨学金・教育ローン・学費減免・アルバイト等のご案内

区 分	名 称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構奨学金(JASSO)の緊急/応急採用	必要
	②貸与金額の増額(すでにJASSO奨学生の場合)	
	③地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	①国の教育ローン	必要
	日本政策金融公庫 学費サポートプラン (オリエントコーポレーション) 悠裕プラン(ジャックス)	
学費減免	学費減免制度(※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO支援金(自然災害等により住居に被害を受けた場合)	不要

不慮の事故や災害等により家計が急変し、
学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内いたします。

アルバイトのご案内

パソコンや携帯電話からいつでもどこでも安心な求人情報が入手できるサービスを提供していますので、有効に活用してください。

◎利用にあたっては、(株)ナジックへのアルバイト登録が必要です。
登録希望の方は、本学のHP⇒学生生活⇒「学生マンション・アルバイトについて」から手続きしてください。

※申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。
また、募集案内や説明会等、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせしますので、情報を見落とさないようにしてください。

保護者のための教育懇談会

後援会主催の秋期教育懇談会を昨年10月から11月にかけて、本学会場(寝屋川・枚方)、学外8会場(難波・京都・奈良・金沢・岡山・米子・松山・福岡)で開催しました。ご多忙の中、各会場合わせて536組733名の保護者の皆さまにご参加いただきました。

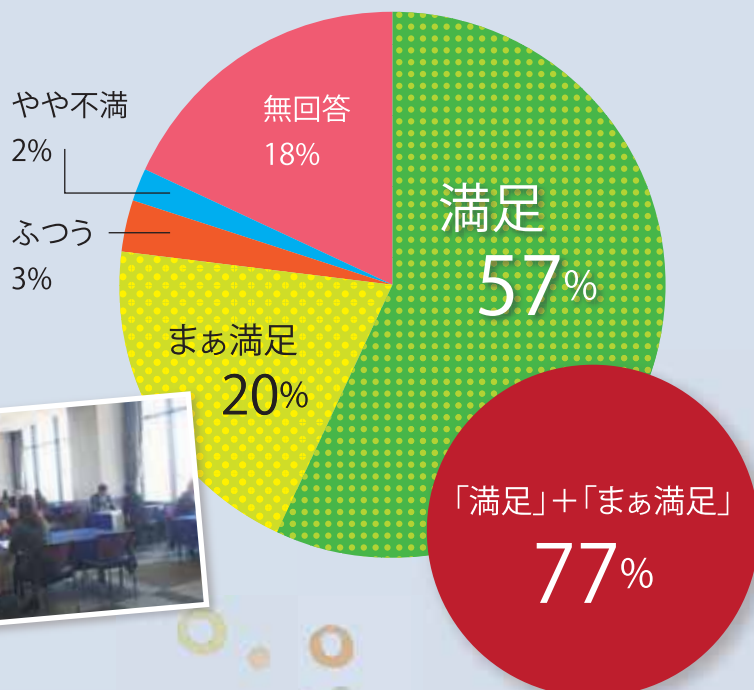
参加された皆さまからのご意見や、よくいただく質問等を一部掲載しました。来年度のご参加を後援会役員・教職員一同、心よりお待ちしております。



個別懇談の内容について

2016年度秋期教育懇談会アンケート結果

(回答数263件集計)



よく お寄せいただくご意見&ご質問

個別懇談で

何を話せばいいのかわからない。

先生と話すのは緊張する。

懇談のお時間は、1組20分程度です。成績や履修科目の出席状況などの情報をもとに教員がご説明させていただきます。「特に悩みはないが、どんな先生が知りたかった」といった理由で参加いただいても結構ですので、お気軽にお申し込みください。

教育懇談会を通して、大学や先生との距離が縮まったと多くの方が感じられています。ご質問内容が事前に決まっている場合は、質問内容をお申し込み時に記載ください。

個別懇談と就職相談の違いが

よくわからない。

「個別懇談」は、教員との懇談となります。ご子供の成績や進級・卒業についてのお話がメインです。「教育懇談会にお申込み＝個別懇談のお申込み」とご理解ください。

「就職相談」は、就職部の職員との相談となります。ご子供の卒業後の進路や就職活動状況についてのお話です。

学外会場では就職相談も事前申し込み制となっておりますが、本学会場ではお申し込み不要ですので、お気軽に就職部にお立ち寄りください。

20分では話し足りない。

もっと懇談時間を長くしてほしい。

当日、多くの保護者の皆さまと懇談させていただくため、1組当たりの懇談時間を設定しております。

もし、時間が足りない場合は、別日に懇談やお電話による相談等させていただきますので、そちらの機会をご利用ください。

申し込んだけど

急遽都合が悪くなった場合は？

必ずお電話にてご一報くださいますようお願いいたします。連絡がない場合、円滑な運営に支障をきたすことがあります。遅刻や欠席は、分かった時点で必ずご連絡をお願いいたします。

スポーツ振興センター横山喬之講師
「柔道の形」で5度目の世界一!!

3年連続
見事優勝!

本学スポーツ振興センターの横山講師が、昨年10月1日・2日にマルタ共和国で開催された第8回世界形選手権大会(主催:国際柔道連盟)に「投(なげ)の形」日本代表選手として出場し、見事優勝しました。横山講師は第3回・4回・6回・7回選手権大会に続く5度目の世界一を手に入れました。



横山講師の世界一の授賞式を動画でご覧いただけます



摂南大学
ニュース
&
トピックス



4月5日、大阪城ホール(大阪市中央区)で2017年度入学宣誓式を行います。摂南大学の楽しさが少しでも伝わるように、大学生活のスタートをよい思い出として残せるようにと願い、今回プロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいます。

在学生からの贈り物として、ダンス×映像の歓迎パフォーマンスやメッセージを届けるほか、大型スクリーンには新入生が宣誓した夢や目標を映し出します。ぜひみんなで入学宣誓式を盛り上げましょう。

2017年度入学宣誓式

日時:2017年4月5日(水) 13:30 開式
場所:大阪城ホール

入学宣誓式プロジェクトが始動
大阪城ホールで繰り広げる
新入生歓迎パフォーマンスに注目!



ダンスパフォーマンス打ち合わせ



練習の様子



<https://www.youtube.com/watch?v=PMgpVqal3D8>

「恋ダンス・
摂南大学バージョン」を
公開しています!

check



昨年TBSで放送された人気ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』で話題となった「恋ダンス」を本学ダンスサークルPEP JOY CREWとボランティアスタッフズのメンバーが中心となって学生・教職員総勢100人で踊りました。YouTube公開以降、おかげさまで再生回数をぐんぐん伸ばしています。

ぜひ一度ご覧ください。

私も
踊って
います。

八木学長

「出水宏輝
フラメンコソロリサイタル」が
開催されました

昨年11月21日、プロのフラメンコダンサーとして活躍する外国語学科4年の出水宏輝さんの初めてのソロリサイタル(石川敬子フラメンコ教室主催、摂南大学協賛)が、寝屋川市のアルカスホールで開かれました。

出水さんは文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」の第1期生として、スペインに2014年から2015年にかけて1年間留学し、スペイン語とフラメンコに磨きをかけました。

この日、1時間半にわたるリサイタルでは、歌、ギター、打楽器、バイオリン、ベースの生の音楽と一体となった情熱的なフラメンコの舞台に拍手が鳴りやみませんでした。



クラブ活動団体の拠点 部室棟が完成します

寝屋川キャンパスに3月末、部室棟が完成します。キャンパス内には現在、文化会クラブの部室(4号館)と体育会クラブの部室(交流会館)がありますが、老朽化した交流会館は来年度中に取り壊すことになりました。

新たな部室棟は4階建て。1階にはコミュニケーションラウンジや合宿所、2階から4階にはクラブ団体の部室が入ります。冷暖房を完備し、無線LANも設置予定です。学生のクラブ活動拠点、交流の場として大いに活用してください。



ラグビー部

今季は1勝6敗の7位
入れ替え戦に勝利し
Aリーグ残留が決定!

全国大学選手権出場を目標に挑んだ今季、ラグビー部(関西大学ラグビーAリーグ)の戦績は1勝6敗7位という結果でした。厳しい戦いが続く中、選手たちは最後まで諦めることなく全力でプレーしました。昨年12月10日にはBリーグ2位の龍谷大学との入れ替え戦に出場。27対12で勝利し、来季のAリーグ残留を決めました。



公務員試験対策講座

国や政府の根幹を支え、
地域に密着した行政
サービスを行う仕事!

公務員は行政の仕事(官庁などの国家公務員から市役所などの地方公務員まで)や警察官・消防官など、さまざまな種類があります。公務員試験は早期からの対策が必須!!

受講料(教材費・税込)

【国家一般職・地方上級コース】

¥136,900

【警察・消防・市役所コース】¥67,000

【技術職コース】¥78,300

【土木職コース】¥98,900

【公務員・民間企業併願コース】

¥32,800

【入門基礎コース】¥31,900

国内・総合旅行業務 取扱管理者 試験対策講座

旅行業界で重宝される
国家資格

ツアーの企画や手配・予約・計算など、旅行業務全般の管理ができる資格。旅行会社は各営業所に有資格者を置く義務があり、取得すると大きなアピールに!

受講料(教材費・税込)

¥66,675



資格サポートセンター

学生の皆さんの就職活動や将来をサポートするため、資格取得についての相談や資格対策講座を開講しています。講座は学内において比較的安全で受講できるので、効率よく学ぶことができます。資格取得のために積み重ねた努力や経験は、皆さんの財産となり自信にもつながります。在学中にぜひ挑戦してみてください。

宅地建物取引士 試験対策講座

不動産業界で必要不可欠の
国家資格!

不動産の取引を仕事として行う際に必要な国家資格。不動産業界では、各事業所で5人に1人は有資格者でなければなりません。不動産業界を目指す人はぜひ取得をおすすめします。

受講料(教材費・税込)

¥64,000

Microsoft®Office Specialist Word/Excel®講座

本学人気NO.1資格!!

MOSの国内受験者数は、累計360万人を超えています。パソコンスキルは今や必須です。就職活動はもちろん、社会人としても役立つスキルを早めに身につけておきましょう。

※MOS=Microsoft® Office Specialistの略称です。

受講料(教材費・税込)

【Word】¥22,760

【Excel®】¥22,760

TOEIC®L&R TEST対策講座

世界共通の基準で英語力を
証明できる

世界約150カ国で実施の試験。合否ではなくスコアで評価されます。グローバルに活躍できる人材は企業から高く評価されています。

※L&R means LISTENING & READING

受講料(教材費・税込)

¥22,650

場 所 寝屋川キャンパス5号館1階
開室時間 10時~18時(日・祝日および大学休業日は閉室)

お問い合わせ先

TEL:072-812-6006
Mail:setsunan@josh-shikaku.jp
URL://josh-shikaku.jp/setsunan/

浪花の大ひな祭り 浪花の豪商の雛道具展

開 催 中 2/25(土)～4/2(日)



本学と大阪市立住まいのミュージアム(大阪くらしの今昔館)との共催で、

「浪花の大ひな祭り—浪花の豪商の雛道具展—」を開催しています。

大学に寄付されたひな人形を展示した大ひな壇、NHK朝の連続テレビ小説のモデルとなった

浪花の豪商「加島屋」(廣岡家)伝来の雛人形と道具の数々など、

日本の華やかな伝統美をぜひご覧ください。

摂南大学学生の
展示による
約600体の
大ひな壇は
※ 必見！

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館 <http://konjyakukan.com/>

会場:大阪くらしの今昔館8階 企画展示室

会期:2/25(土)～4/2(日) ※休館日 毎週火曜日、3/22(水)

開館時間:10時～17時

入 館 料:企画展のみ300円(本学学生は無料(学生証を呈示すること))

その他詳細は大阪くらしの今昔館ホームページをご覧ください。

※掲載のひな人形はすべて摂南大学所蔵

2016年度 学位記授与式

日時:2017年3月24日(金) 11時～
場所:寝屋川キャンパス 総合体育館

2017年度 All 摂南大学 Dayを開催します

日時:2017年9月3日(日) 13時～【予定】

場所:京セラドーム大阪

プロ野球「オリックス・バファローズ 対 埼玉西武ライオンズ」戦を、
摂南ファミリー(卒業生、在学生、受験生とそのご家族等)が集う
ホームカミングディ「All 摂南大学 Day」として開催します。詳細は
7月頃、本学ホームページでお知らせします。



国歌独唱



始球式

摂南ファミリーによる
オープニング
セレモニーの
様子(2016年度)

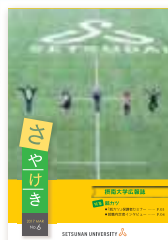


花束贈呈

さ
や
け
き

「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいる
などの意味を表します。大学歌に「学風さやけき
摂南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さ
あふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。



表紙の人

(左から)塚本翔さん、中谷由莉さん、伊谷郁さん、田中
紀帆さん、白谷祐二さん

総勢120人を擁する本学ダンスサークルPEP JOY CREW
をまとめる幹部メンバー。恒例の春風祭、大学祭、クリス
マスフェスタのほか、2017年度入学宣誓式(4月5日)では、
大阪城ホールで新入生を歓迎するダンスパフォーマンス
を披露します!(本誌P.18でも紹介しています)

Smart and Human
摂南大学

法学部 外国語学部 経済学部 経営学部 理工学部
薬学部 看護学部 大学院

発行日:2017(平成29)年3月10日
発行:摂南大学 学長室 企画課
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
TEL:072-839-9450
URL:<http://www.setsunan.ac.jp>